

# 未来を切り拓くマイクロソフトの クラウド戦略

2015/06/4

日本マイクロソフト株式会社

エリアパートナービジネス営業統括本部

東日本パートナー営業本部

高橋 洋



## いま、世の中で何がおきているのか：終わることのないICTのイノベーション

利用者が  
5000万人に  
達した期間



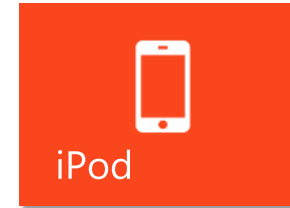
38年



13年



4年



3年



0.5年  
(9か月で1億人)

他にもこんな話が...

現代のスマートフォンは1995年の大型コンピュータより100万倍安く、1000倍強力で、10万倍小さい。

1週間分の「New York Times」に含まれる情報は18世紀の人が生涯に出会う情報より多い。

NTTの第3世代光ファイバーはCD2660枚や電話21億回分の情報を1秒で送れる。

2010年に最も需要の高い職種トップ10は2004年にはまだ存在していなかった。

1日送受信されるテキストメッセージは地球中の人口をはるかに超えている。

今年スーパーコンピュータは脳の処理能力を超え、2049年には全人類の能力を超える。

今年1年で生まれるオリジナルの情報は4エクサバイトでこれは過去5000年の合計より多い。

世界人口の50%が30歳以下で若者の96%がSNSに参加。英国では携帯アクセスの50%がFacebook。

全米3大ネットワークの新規閲覧者は毎月1000万人。MySpace + youtube + Facebookは毎月2億5千万人。

出典「Did You Know」\*コロラド州の教職員向けに作られたビデオ。21世紀に生徒が成功するために必要なものについて議論している。

# Cloud First, Mobile First

「業界では伝統ではなく、イノベーションだけが重んじられる」

サティア ナデラ  
マイクロソフト CEO

“Our industry does not respect tradition – it only respects innovation.” by Satya Nadella

- 150億ドル以上の投資
  - 19Regionのデータセンター
  - 日本市場への投資
- 開発プロセスをCloud Firstに
- 人を中心としたサービス提供
  - 様々なデバイス/プラットフォームに対応





将来の「日本マイクロソフト」を見据えて「変革」を推進し、より良き企業市民として、さらに社会に貢献できる会社となるべく邁進してまいります。

グローバル

米国本社

2014年

新CEO サティア・ナデラ就任(2/4)

「プロダクティビティ&プラットフォーム カンパニー」へ  
**Mobile First & Cloud First**



- 全てのデバイス、全ての人に一貫性のある体験をご提供
- モバイル管理の為に最適なソリューションを提供



パートナー  
アライアンス  
(IBM,SFDC,等)

Windows  
ライセンス無償化  
(9インチ以下向け)

Officeのマルチプラット  
フォーム対応  
(iOS,Android)

オープンソース  
コミュニティとのさら  
なる連携

2015年

設立40周年

- さらなる変革の加速
- 革新的で多くのお客様に親しみをもって利用される製品・サービスの提供
- 「プロダクティビティ&プラットフォーム カンパニー」としての価値向上



Windows 10

2015年以降



Mobile-first



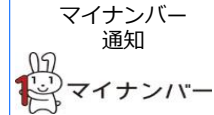
Cloud-first

市況

先行きへの不透明感が強まった1年



平成27年：安倍総理就任から2年



2020年  
東京オリンピック・  
パラリンピック  
世界最高水準の  
IT活用社会の実現

日本

日本マイクロソフト

「プロダクティビティ&プラットフォーム カンパニー」への変革

デバイス  
ビジネスの  
加速

Windows XP  
サポート終了

Surface  
第3世代発売

Office  
Premium 発売

日本における変革の推進



- 様々な形状のデバイスに対応 (PC, タブレット, スマートフォン, Xbox, 組み込みデバイス)
- パートナー企業も含めたWindowsエコシステム全体のさらなる拡大

クラウド  
ビジネスの  
加速

(2月)Microsoft Azure  
日本DCサービス開始

(12月) Office 365  
日本DCサービス開始

(第一四半期)Dynamics CRM Onlineの日本  
DCからの提供を予定

2015年7月 Windows Server  
2003 サポートを終了

- 東日本,西日本 2つのリージョンの複数拠点で稼働
- 国内のみでの高い冗長性を提供
- オンプレミスを含めたハイブリッドクラウドを提供

継続した「日本品質の追求」と国内データセンターの活用、様々なパートナー様との連携も拡大し、2015年は企業の企業情報システムのクラウド化、近代化を一層支援

日本法人30周年へ

日本の成長に向けて、  
ITベンダーの側面  
から貢献したい



# Windows 10 リリースアップデート



### Windows 10リリースアップデート

- 1月21日(米国時間)レドモンド本社にて Windows 10 イベントを開催
- 幅広いユーザー体験を実現する、新世代のWindowsを公開
  - 日本時間1/24よりWindows 10 Technical Previewのダウンロード開始(日本語版提供)
- Windows 10 のラUNCHから約 1年間無償でアップグレードを提供(対象: Windows 7, Windows 8.1, Windows Phone 8.1 をご利用のお客様)

Windows 10  
Satya Nadella

### Cortana

- 音声認識、音声会話対応のパーソナルアシスタント。やりたいことがより簡単に、効率よく
- Windows PC/タブレット/Phone、すべてのデバイス(Windows 10)にまたがりユーザーをサポート

### Edge

- Web の共有、閲覧、検索、そしてオンラインでの作業がより快適に行える、すべてが一掃された次世代 Web ブラウザー

### Office

- スマートフォン、タブレット、PC において、これまでの Office と一貫性を保ちつつ、タッチに最適化された Word, Excel, PowerPoint, OneNote, Outlook を提供

### Continuum モード

- 2-in-1 デバイスにおいて、キーボード&マウスとタッチ&タブレットの切り替えを検出し、それぞれに最適化された UI を表示

### Phone & Tablet

- Windows 10 をスマートフォン、小型タブレット向けにも提供。Windows 10 搭載PC とシームレス連動し、動作も快適。

### Microsoft HoloLens

- Windows 10 は世界初のホログラフィック コンピューティング プラットフォーム: 実世界でホログラフィックを実現するための API 群を提供

### Surface Hub

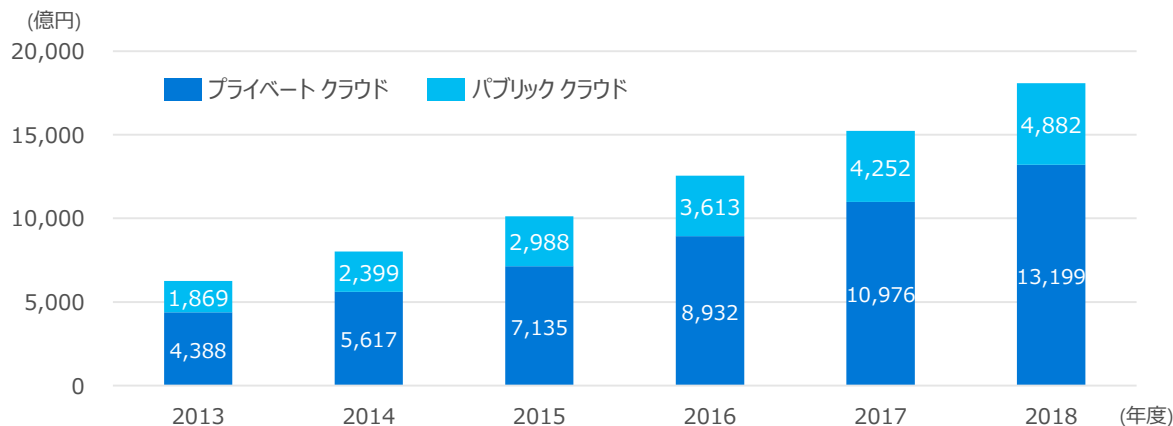
- チームで自然なやり取りやコラボレーションを実現するために設計された、新しい大画面ディスプレイ
- 55 インチと 84 インチの 2 つのサイズで提供

### ゲーミングエクスペリエンス

- Xbox Live と新しい Xbox App による Windows 10 の新しいゲーム エクスペリエンス
- DirectX 12 によるグラフィック性能の向上

# 国内パブリッククラウド動向、および IT サービス市場の方向性 (1/2)

## 国内クラウド サービス市場規模予測 2013 年 ~ 2018 年



### ■ クラウド市場規模: 2018 年 1 兆 8000 億円

- 2013 年比 約 2.9 倍
  - 2013 年 6,257 億円 (前年度比 22.6% 増)
- 年平均成長率 (2013 ~ 2018 年): **23.6%**

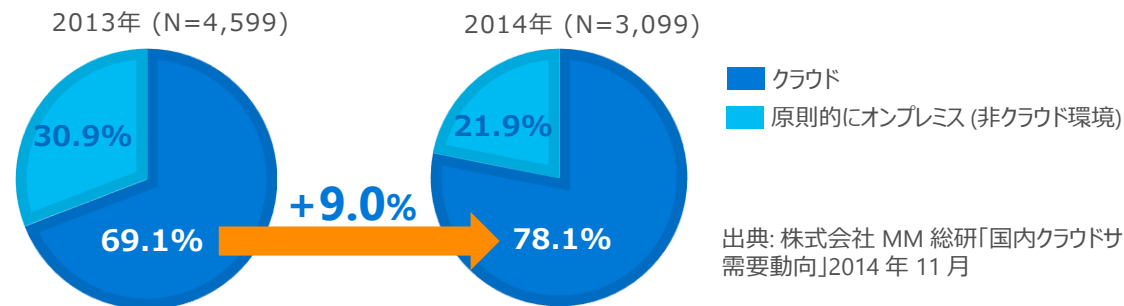
### ■ パブリッククラウド市場

- クラウド市場全体の**約 3 割** (2018 年 4,882 億円)
- 利用者は拡大傾向
  - IaaS 中心に激しい価格競争
- 特に **IaaS/PaaS 市場は急成長**
  - 年平均成長率 (2013 ~ 2018 年): **28.2%**

### ■ 新規分野のみならず既存分野へのクラウド適用が進む

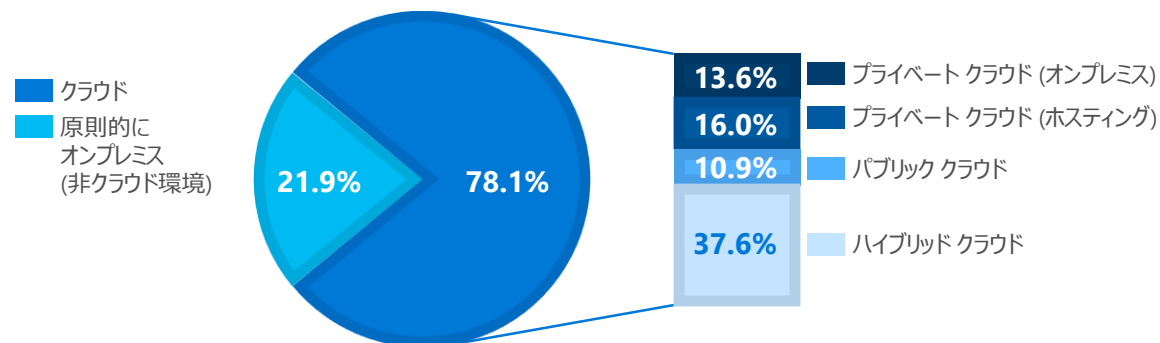
## ■ 新規システム構築時のクラウド活用推移

- 「クラウドファースト」が浸透、**78.1%** の企業が新規システム構築時に**クラウドの活用を優先的に検討**
- 「原則的にオンプレミス」と回答したユーザーは、2013 年と比べて、**30.9% ⇒ 21.9% に減少**。特定のシステムを除いて、オンプレミスのシステムはクラウドへ移行していく



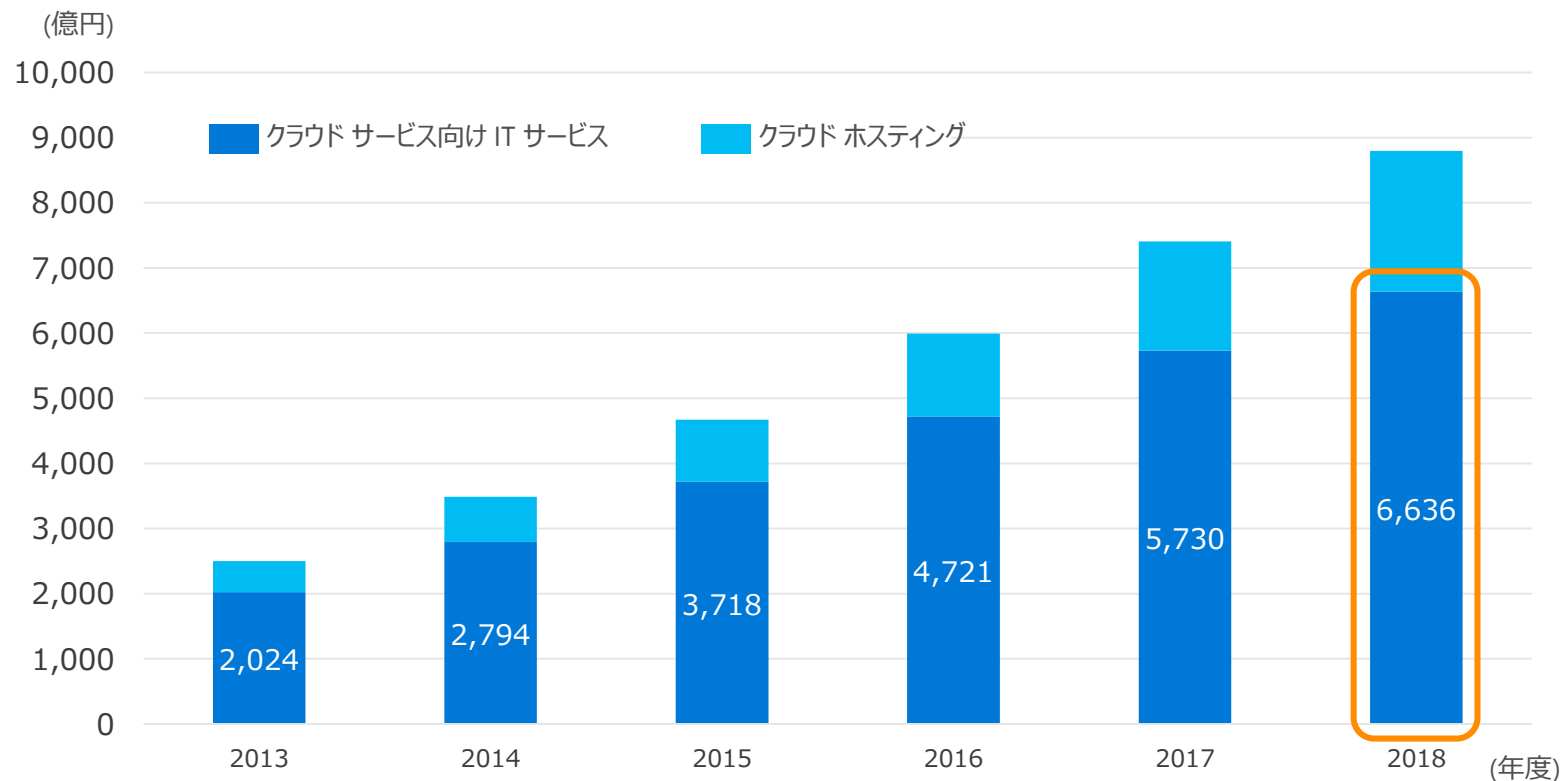
## ■ 新規システム構築時のクラウド活用の内訳 2014 年

- 企業が利用するクラウド環境は、「プライベートクラウド (オンプレミス)」、「プライベートクラウド (ホスティング)」、「パブリッククラウド」の**単体、もしくは組み合わせ**
- ハイブリッドクラウド検討: **約 4 割** (クラウド サービスとオンプレミスのそれぞれのメリットを勘案して、最適な方法で構築)
- 特に従業員数の多い企業ほど利用・検討率は高い (5,000 人以上の企業: 2-3 割の利用率)



# 国内パブリッククラウド動向、および IT サービス市場の方向性 (2/2)

## 国内クラウド サービス関連 IT サービス市場 支出額予測 (2013 年 ~ 2018 年)



出典: IDC Japan 「国内クラウドサービス向け IT サービス市場 2013 年の実績と 2014 年 ~ 2018 年の予測」 2014 年 6 月

- クラウド サービス向け IT サービス:  
**2018 年 6,636 億円**
  - 2013 年 2,024 億円 (前年比 37.8%)
  - **2013 年比 3.3 倍**
- SI/コンサルティングや運用サービスなど人的能力を提供するクラウド関連の IT サービスの市場が大きく、且つ急速に拡大する
- 「クラウド指向パートナー」(\*1)は、多くの主要業績評価指標において、その他のパートナーを上回っている (\*2)



\*1 売上高の50%以上がクラウドサービスに関連しているパートナー  
\*2 「成功するクラウドパートナー-2.0」 IDC eBook 後援 Microsoft

# 社内サーバーをクラウドへ移行



物理サーバー  
(4core/8GB x 4台)      ストレージ : 2TB

約600万円 (初期投資)  
(別途、ハード保守・運用費)



Microsoft Azure  
(4core/7GB x 4台 + ストレージ : 2TB)

約140万円 (年間)



# 基幹システム（SAP）をクラウドへ移行

シンプルな1台構成から、中～大規模構成まで信頼性の高い基盤を提供

## シンプルな1台構成（小規模、開発／検証環境向け）

- 開発・検証環境としての利用
- 学習用、デモ用、トレーニング用など、常時稼働の必要が無く、かつ必要な時に素早く展開することが求められる利用用途に最適



2core/14GB x 1台 + ストレージ：1TB  
(ネットワーク転送量：1TB/月で想定)

約60万円（年間）

## 複数台構成（中規模～大規模向け）

- 比較的高いパフォーマンスが求められる本番環境としての利用
- APサーバーの追加・インスタンス強化により、随時パフォーマンス増強が可能



2core/14GB x 4台 + ストレージ：4TB  
(ネットワーク転送量：2TB/月で想定)

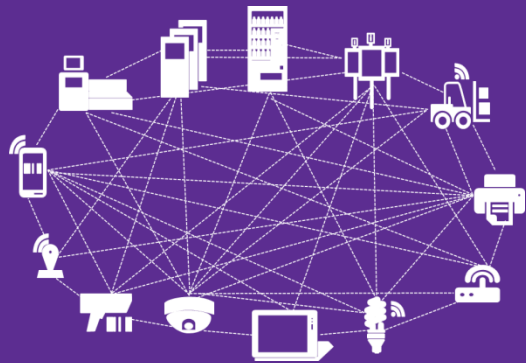
約260万円（年間）

# Internet of Thingsとは

情報を取得する  
デバイスが...



...様々な接続され



...膨大な量のデータが蓄  
積され...



...分析し、次のアクション  
を導き、世界は変わる！



# ロンドン地下鉄でのIoTの推進



Infrastructure Supervisor

## London Underground Manager

Line Status

Good Service	Good Service	Service Delayed
District 52	DLR 47	Hammersmith & City 24
Jubilee 33	London Overground 39	Metropolitan 32
Northern 27	Piccadilly 21	Service Delayed
Waterloo & City 36		

Operational Status

451 Asset Registered

18 Alerts

8 Device Profile

Microsoft Azure Intelligent Systems Service

Station Summary

Temperature: 26°C

Noise: 51.6 dB

Alerts: 5

Notifications: 8

76%

Trending Up

Operational Status

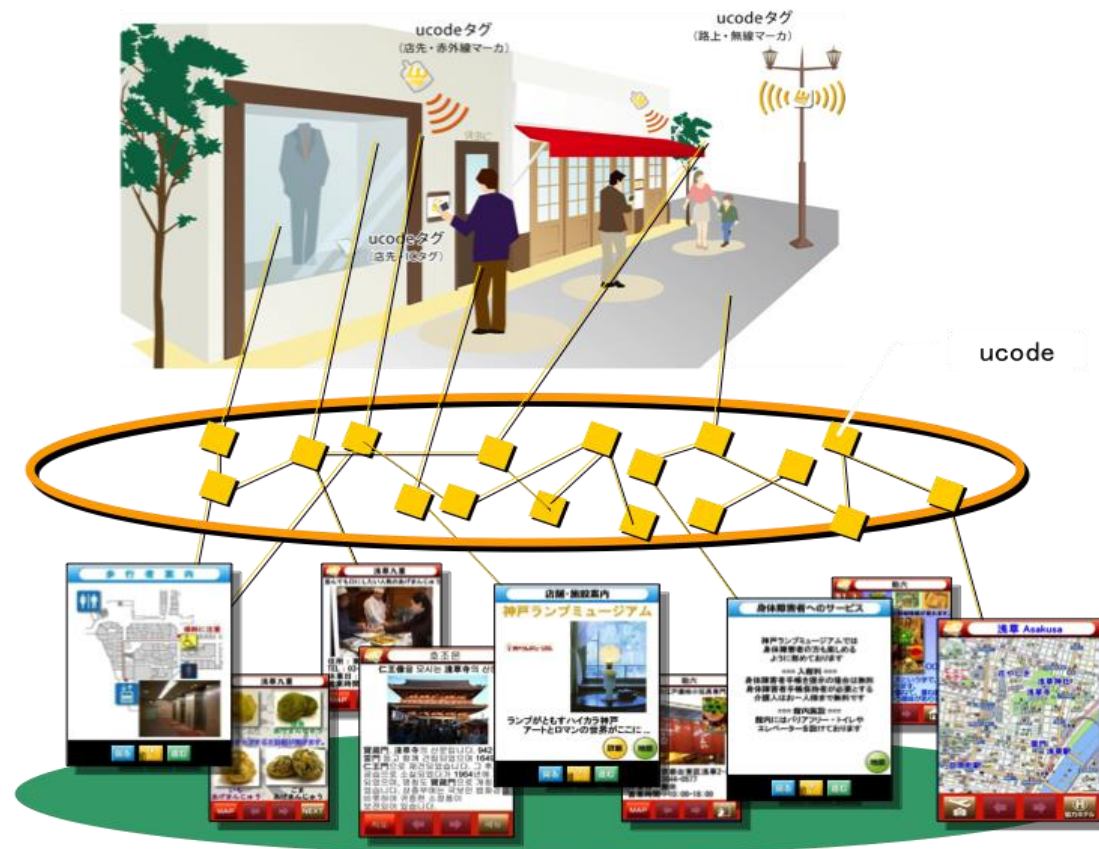
Microsoft Azure Intelligent Systems Service



毎年10億人以上の乗客を運んでいるロンドンの地下鉄は

# uID-Azure空間情報連携基盤

- 屋内外をシームレスに対応できる高精度位置情報基盤
  - GPS、準天頂衛星、Wifi測位、Bluetooth LE、NFC、RFID、ucodeQRなど、あらゆる位置認識技術をトータルにサポート
  - 場所コードとして、ucodeを利用
    - ucodeは、国際電気通信連合 (ITU-T) におけるH.642.1に採用された国際標準企画に採用されています。
- 空間情報サービスプラットフォームとして「ココシル」をAzureと連携して実現
  - 日本マイクロソフト様の自動翻訳技術をココシルと連携  
→ 外国人向け情報サービス



uID 2.0+YRP UNLココシル

Microsoft Azure

# 来場者サービス向上

高精度位置情報を利用したおもてなし

## スマホアプリのダウンロード



ママ！  
動物園いこう！



来援前に開園時間やアクセス。観覧ポイントのチェック！

ついでに、スマホアプリのダウンロード

- 来園者のアプリダウンロード者数の向上を図る施策
- 入園割引ほか

## お勧めルートを表示



季節や時間に応じて、一番動物の魅力を感じてもらえるお勧めルートに沿って観覧。

歩いている場所に応じて、次の動物からメッセージとルート誘導。

- GPSよりも高精細な位置情報によりきめの細かいご案内。

## 動物の魅力の発信



展示舎に近づくとその動物に関する最新の情報や飼育員の投稿などを表示。動物のその場の動作の愛らしさに加え、より詳しい生活や性格などでより愛される。

- 展示舎に設置したマーカーより場所を通知。
- 飼育員が日頃発信する動物情報を自動表示。

## 帰宅後 継続的な情報提供



パパ！  
今日メイタ何してる？



大好きになった動物。

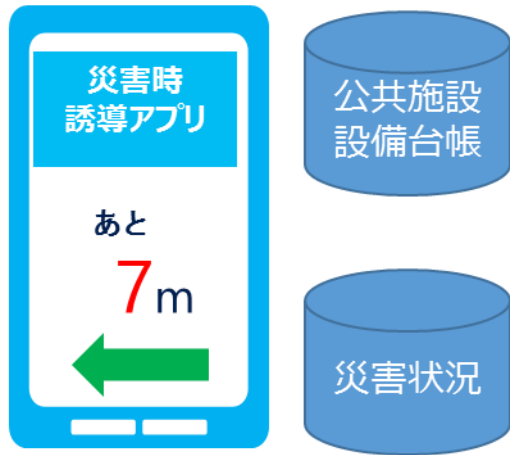
帰宅後も継続的に動物情報、当日の観覧車のツイートでアクセスし、次の来園を夢見る。

- 帰宅後はマーカー受信オフ。クラウド上にSNS情報、動画、ブログの統合。

# 動物園の管理

おもてなしだけでなく効率的な経営管理の両立

## 危機管理



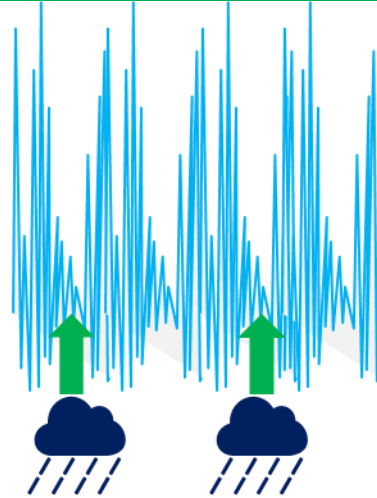
### 災害時避難誘導

災害が発生した場合には、園内のサイネージやアプリが自動的に災害モードに変更。

最速でお客様を安全な場所に誘導。

- 精細な動線管理で現実的な避難経路
- 園内のお客様だけに限定して情報通知

## 収益向上



### 来場者の分析

月ごと、日ごとの来場者数分析に加え、天候情報や時間ごとの来場者分析を行うことで、

適切なキャンペーンの実施

- 入場ゲートのカメラで人数カウント
- レストランの仕入れ調整、値引きなど

## お客様動線管理



動物園内部の精細な動線分析により、よりお客様に満足いただける観覧コースの提案や、全部の動物の魅力を感じていただけるコースを提案。同時に安全管理のポイント抽出

- uマーカー設置によりGPSより精細な動線
- 天候、時間帯、季節などより細かい分析

## 施設維持管理



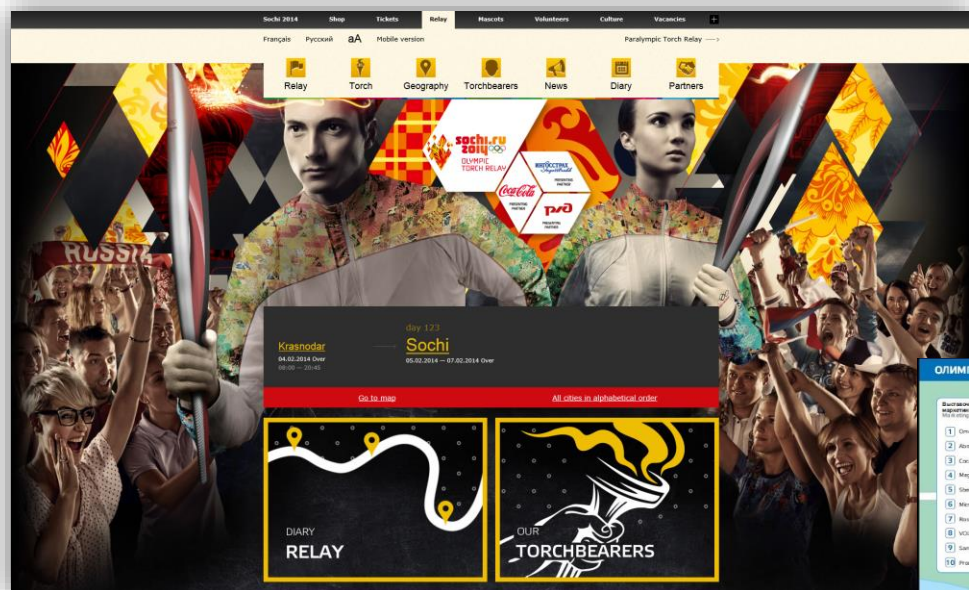
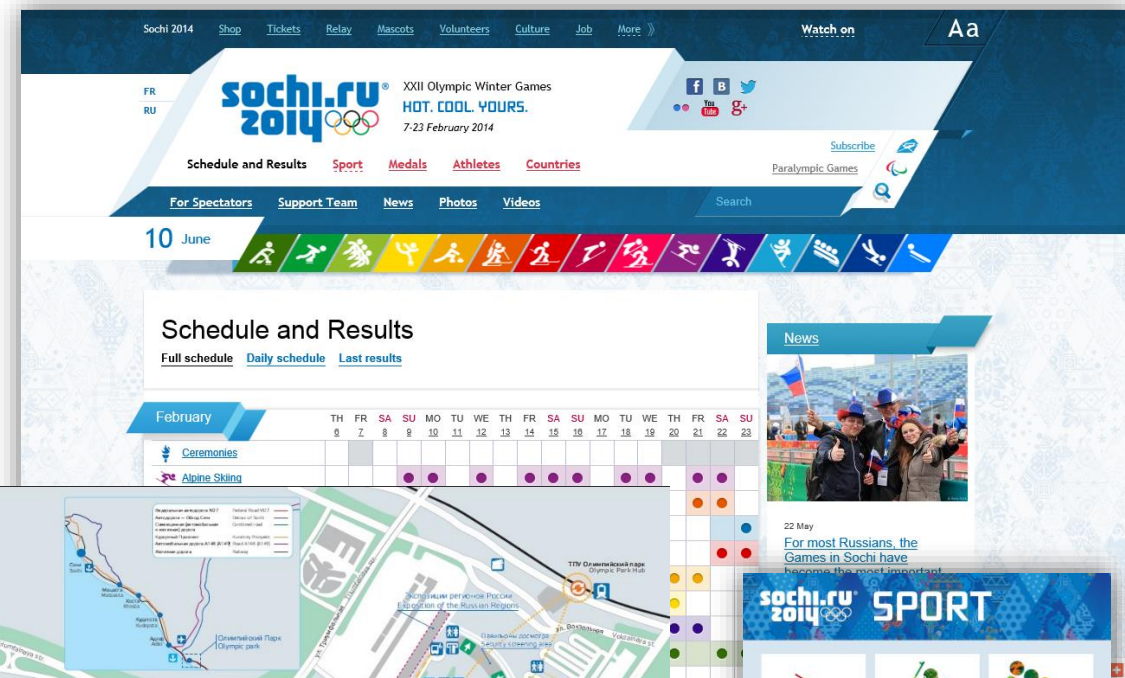
### 施設維持管理

センサーにより維持管理が必要な場所だけを対応指示。効率よく対応することで時間とコストの削減。

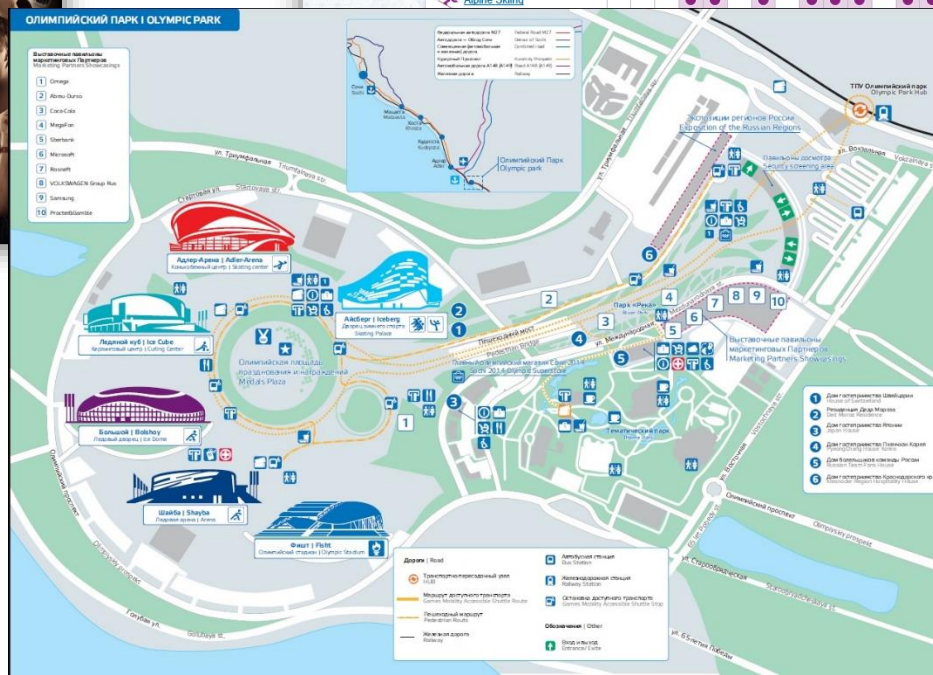
- 溜まったごみ箱だけ対応
- 照度センサーで切れた電灯のみ交換

# ソチ五輪

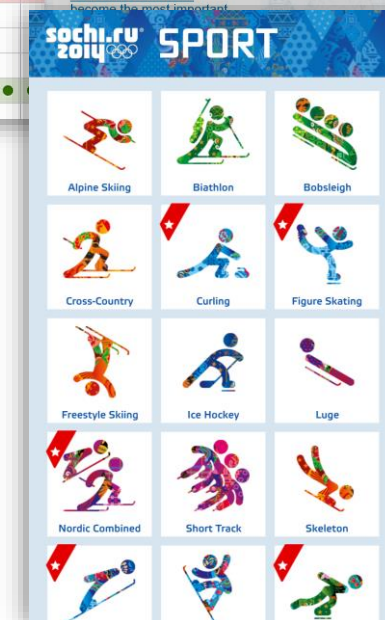
オフィシャルWebサイト



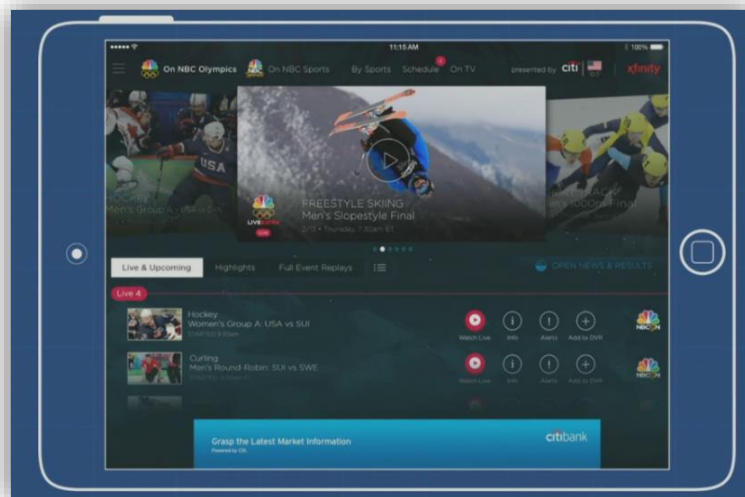
トーチリレーWebサイト



フィールド管理システム



モバイルアプリケーション



ライブ配信・ストリーミング

# 株式会社良品計画様

## 良品計画が、お客様とのより良い関係構築と迅速な商品開発の実現に向けたビッグデータ活用基盤を日本マイクロソフトと構築

公開日 2015年4月24日 By Japan News Center



0



22



0



[2015年4月24日]

株式会社良品計画  
日本マイクロソフト株式会社

### 「MUJI DIGITAL Marketing 3.0」を日本マイクロソフトのクラウドサービスで加速

株式会社良品計画（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：金井 政明、以下 良品計画）は、お客様一人ひとりとのより良い関係づくりと、よりお客様のニーズに合った無印良品の商品を迅速に開発・提供していくためのビッグデータ活用基盤を、日本マイクロソフト株式会社（本社：東京都港区、代表執行役 社長：樋口 泰行、以下 日本マイクロソフト）をITパートナーとして構築し、2015年4月1日（水）より運用を開始しました。

良品計画は、国内約400店舗展開している無印良品の店舗、オンラインストアの「無印良品 ネットストア」（<http://www.muji.net/store/>）、スマートフォン向けアプリ「MUJI passport」（<https://www.muji.net/passport/>）、公式Twitter（[https://twitter.com/muji\\_net](https://twitter.com/muji_net)）などの利用者から日々集まる膨大なデータを分析・活用するビッグデータ活用基盤として、日本マイクロソフトのクラウドサービス「Microsoft Azure」と「Microsoft Power BI」を採用し、デジタルマーケティングプラットフォームの強化に取り組んでいます。

[http://news.microsoft.com/ja-jp/2015/04/24/150424\\_powerbi\\_ryohinkeikaku/](http://news.microsoft.com/ja-jp/2015/04/24/150424_powerbi_ryohinkeikaku/)

## 背景

- MUJI passportから取得された膨大なデータをデータ分析の専門家ではない、**店長やエリアマネージャーに開放したい**
- **明細に近いレベルの細かいデータ粒度**であっても、数秒～数十秒の短い時間で結果を表示する必要があった

## システム導入の効果

- 会員分析が迅速に行えると同時に**社内への共有・展開も容易に**
- 予測精度の高いマーケティング施策を実施するだけでなく、**高速で回していくことで予測精度の高い施策につなげることが可能に**



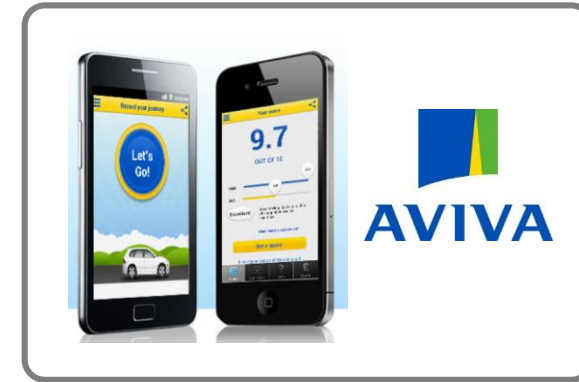
# AVIVA社（英国損害保険会社）

## 課題

- 法規制により、性別の違いでは保険料の差異化ができなくなった
- 運転者のドライブ特性に応じた保険料見積システム構築は複雑で多大なコストがかかる

## 解決策

- 既存の属性情報だけでなく、実際のドライバーの**運転属性（急発進、急停車など）をアプリケーションで取得**および診断
- **膨大なデータの収集や計算を、クラウドによって実現**



## 大規模な仕組みをクラウドによって 低コストで実現

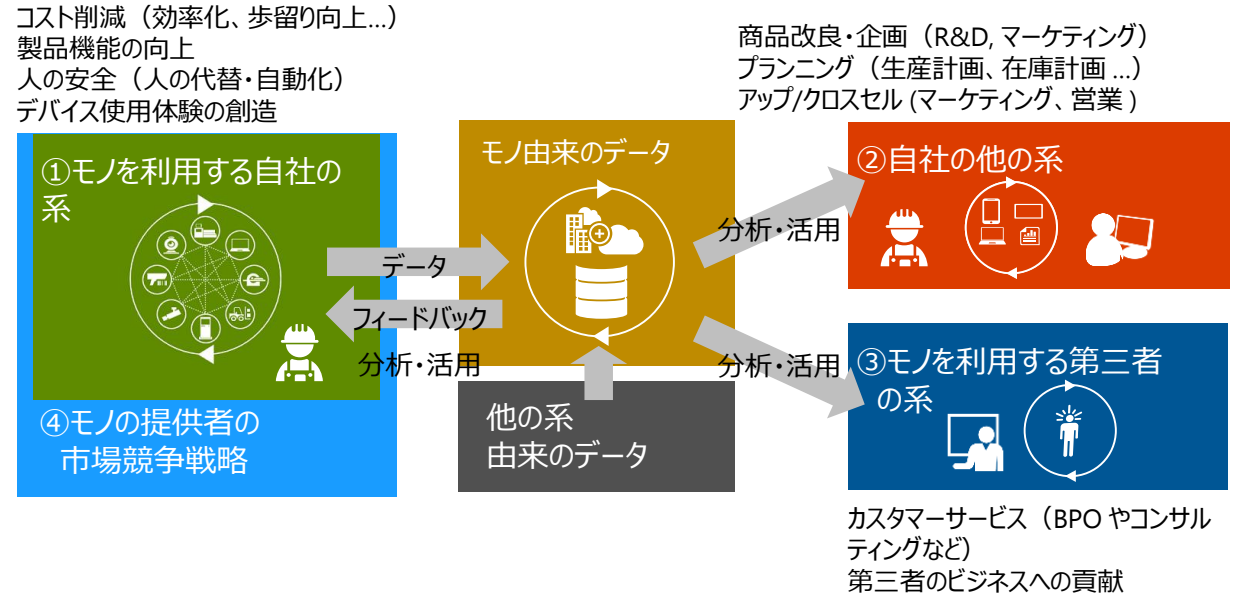
## システム導入の効果

- 保険料計算に必要な**データ収集を自動化**
- 収集されたデータをベースにした保険料計算の結果、**保険料を最適化**（双方のメリット）
- 口コミで評判が広まり、**新規顧客を創出**

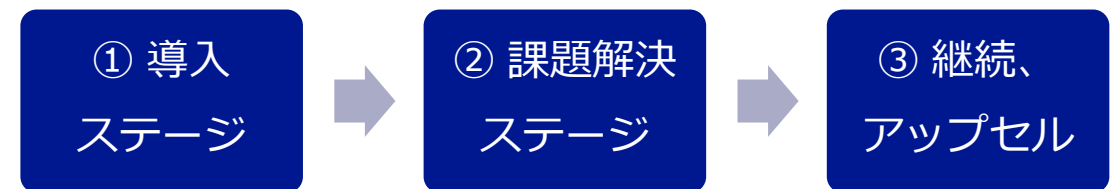
# マイクロソフト IoT 事例に見るビジネスモデルと価値

	事例企業	実現内容	ビジネス価値	どこで	いつ
Connected Consumer Devices	Samsung	世界中でのスマートTV	新顧客体験を世界規模で提供	● ●	②③
	某社 (日本)	全製品のクラウド接続	製品サービスが連携することでの新しい顧客体験創造	● ●	②③
	Microsoft	ユーザの利用状況収集 オンラインゲーム	利用データに基づく商品の改良 顧客のつなぎとめ	● ●	③
	日本テレビ	双方向TV及びビッグデータ分析基盤	リアルタイムでの視聴者の反応を活かした番組制作	● ●	②③
Connected Vehicle 次世代テレマティクス	Qoros Motor	次世代テレマティクス	ドライバー体験の差別化	●	②
	Daimler	EVカーシェアリング環境	EV向け新サービスで街と連携したエコ社会実現	●	②
	トヨタ自動車	新サービスとしてのHEMS	次世代ビジョンの具現化	●	②
	Delphi	車載機の双方向通信とドライバーへの情報提供	次世代基盤ビジネスの実現	●	②
Connected Operations / Services 産業機器・設備利用の効率化	M.G. Bryan	機器の遠隔監視に基づく操業支援 (予兆保全)	高稼働率と操業コスト削減、在庫削減	● ●	②
	Rockwell	機器の遠隔監視・分析	高稼働率と操業コスト削減	● ●	②③
	Krones	機器の遠隔監視に基づく操業支援 (操業コンサルティング)	お客様の保守業務効率化により顧客関係の深化を実現	● ●	②③
	ThyssenKrupp Elevator	機器の遠隔監視に基づく操業支援 (予兆保全)	新市場の成長への追従、確実な保守契約の獲得	● ●	②③
	カーネギーメロン大学	ビル運営管理	エネルギーコスト/オペレーションコストの削減	● ●	②
	Areva	機器の遠隔監視に基づく操業支援 (操業支援)	高稼働率と操業コスト削減	● ●	②
City Next	ロンドン地下鉄	機器の遠隔監視に基づく操業支援 (操業支援)	分断されたプロセスの統合により新規投資領域を判断	● ●	N/A
	バルセロナ	交通機関や市民のモバイルからの情報収集と分析	市民のQOLや観光客の利便性の向上、市民の声の議会への	● ●	N/A

## どこでデータ活用の効果を発揮するか



## モノの利用者にとっていつ効果を発揮するか

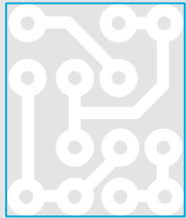


# 革新のための重要技術

プロダクティビティ



Internet of Things



オープン

nodeJS



クロスプラットフォーム

プラットフォーム

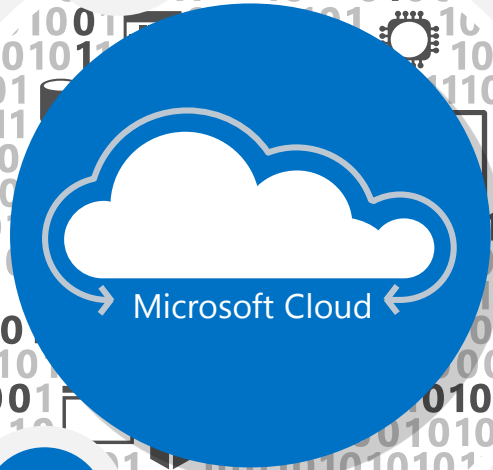


NUI

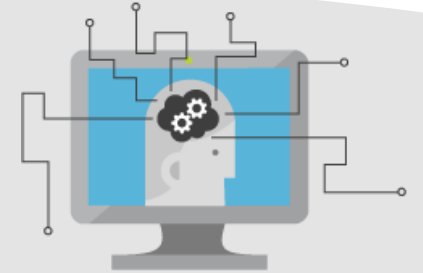


Windows as a Service

One Core



ビジネス  
アプリ



機械学習



信頼できるクラウド

# クラウド ビジネスにおける実績とコミットメント

## Cloud First

業界では伝統ではなく、  
イノベーションだけが  
重んじられる

サティア ナデラ  
CEO, マイクロソフト

Our industry  
does not respect  
tradition – it only  
respects innovation.

Satya Nadella,  
Chief Executive Officer,  
Microsoft Corporation



開発プロセスを Cloud First に

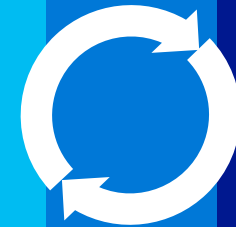
- 4 人ずつの開発グループ
- 4 週間毎に、新機能をクラウド側に追加
- 年に一度、オンプレミス製品に反映

200 を超えるインターネット スケールの自社クラウド サービス (Office 365、Xbox Live、...) で得た知見をオンプレミス製品にフィードバック

 Outlook.com  Office 365

 XBOX LIVE  bing

 Microsoft Dynamics CRM Online  msn



Microsoft Azure



 Windows Server

# Office 365 事例と導入状況

おかげさまで、世界中でも日本でも、多くのお客様に利用されています。

世界中で数千万ユーザーが利用

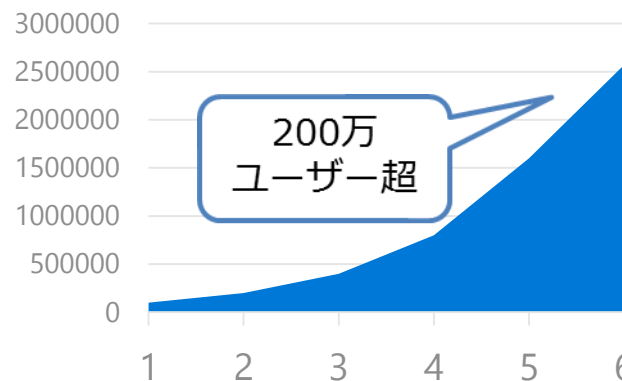
Office 365 国内導入状況とシェア

米国「フォーチュン500」  
企業のうち60%が導入

日本「日経225銘柄」  
企業のうち60%が導入

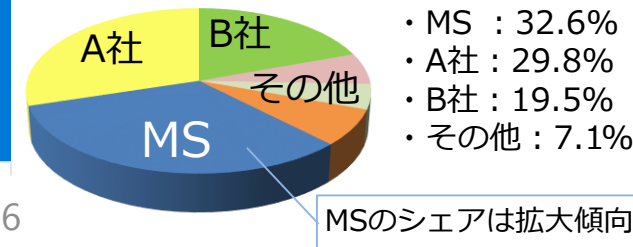
主な国内事例	ユーザー数
トヨタ自動車	200,000 (ハイブリッド構成)
日本航空	20,000
大林組	15,000
ヤマハ	12,000

Office 365 国内利用ユーザー数推移



マイクロソフトシェア

• Exchangeオンプレミス  
(社内設置)と合わせると  
国内最大のシェア(IDC調査)



世界中でも、日本でも多くの公開導入事例



世界中で



日本で

# 事例 1 : トヨタ自動車様グローバル情報共有基盤

- 国内外それぞれ10万、合計20万人のグローバルのコミュニケーション基盤の構築

## 背景

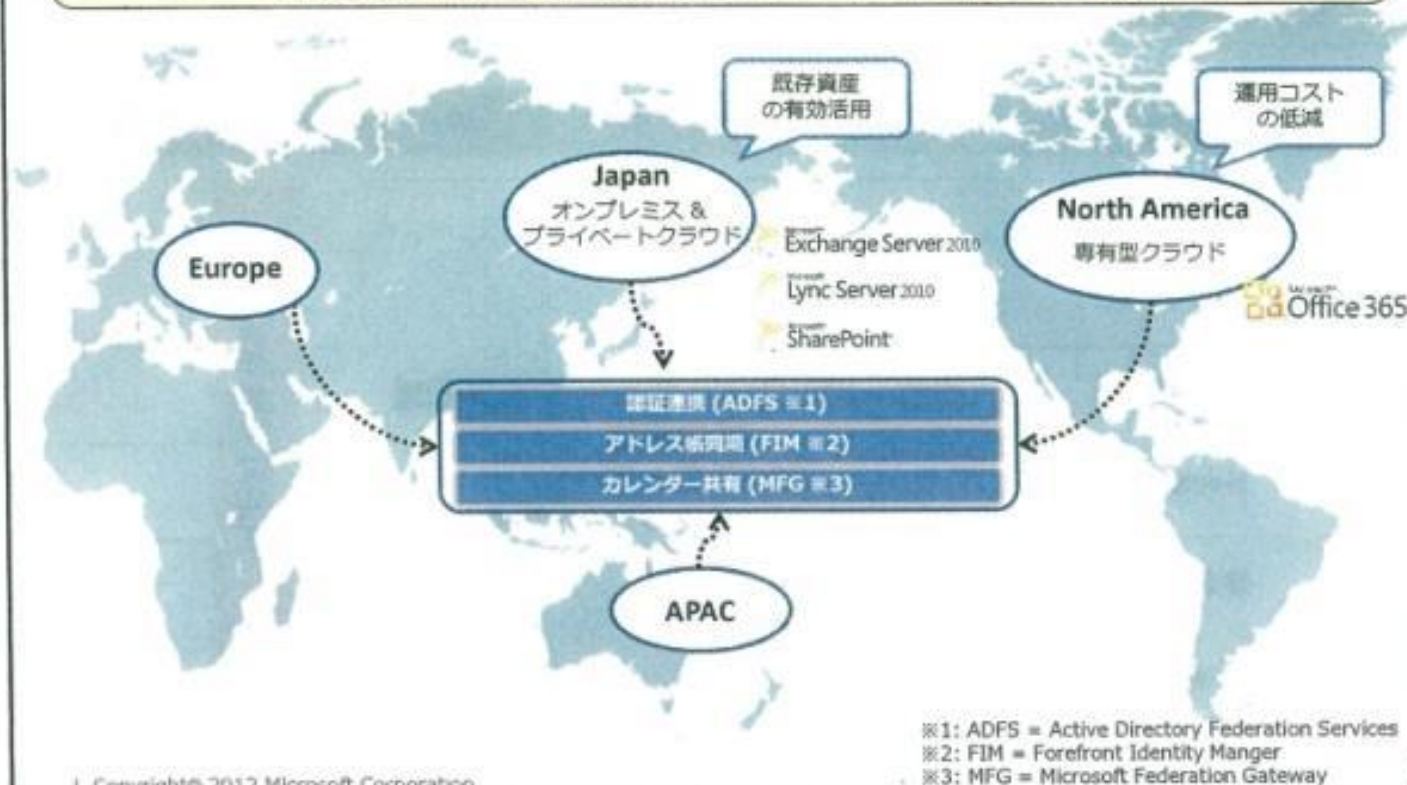
昨今の世界情勢や経済状況より、経営の安定・効率化と共にグローバルでの組織力強化の為に、世界各国、地域との連携が今まで以上に急速に必要なとなっている





### 3. 地域・各社の自律性を重視した“選択肢”と“連携”

マイクロソフト製品の連携機能により、オンプレミス、プライベートクラウド、マイクロソフトクラウド「Office 365 (専有型)」をつなぐハイブリッドクラウドにより、コミュニケーション基盤を構築



## 目的 :

- 機動力のある働き方
- グローバルレベルでの知見共有
- 会議の高度化

## 特長 :

グローバルでIT基盤を統合しつつ、導入については各リージョン単位に運営を分権して、連携を図る

## 対象 :

- トヨタ自動車・国内ボディメーカー
- 北米
- 欧州
- 豪亜
- 南米
- 南アフリカ

※1: ADFS = Active Directory Federation Services  
 ※2: FIM = Forefront Identity Manger  
 ※3: MFG = Microsoft Federation Gateway

# 事例2：Office365事例：株式会社カネカ

- Office 365で情報共有基盤をクラウド化して、メール容量の増加を実現し、在席情報、オンライン会議などの各機能に加え、Lync Serverのエンタープライズボイス機能(PBX機能)により電話機能の統合も図り、業務における機動性と生産性向上を実現



- メールの容量負荷と運用コストの増加
- 携帯電話の料金増加
- 組織変更・異動時の座席レイアウト変更毎に発生する工事費削減
- TV会議の運用コスト



- スピード感のある効率的な働き方への取り組み
- 働き方の変革に連動したオフィス環境とITツールの統合化



PC からIM / 音声 / ビデオによるコミュニケーション



PBXと電話機の撤廃



# ▶ 事例 3 : Office 365 ヤマハ発動機株式会社

## ヤマハ様



- 国内・海外15,000人をNotesからOffice365環境に移行
- 音楽教室を始めとする社内外コミュニケーション機能
- 各工場に点在するファイルサーバー機能の収容



ヤマハ、ワークスタイル変革に向けてグローバル1.2万人を  
対象に Office 365 を活用した情報基盤を導入

～NECと日本マイクロソフトがシステム導入を支援～

ヤマハ株式会社（本社：静岡県浜松市、社長：中田卓也、以下 ヤマハ）は、ワークスタイル変革の一環として、日本マイクロソフト株式会社（本社：東京都港区、社長：樋口泰行、以下 日本マイクロソフト）のクラウドサービス Office 365 を活用したグローバル情報基盤（以下、本システム）を導入します。



## ヤマハ発動機様

- 国内・海外3万人を主にNotesからOffice365環境に移行
- 海外拠点に手数点在するメール・ポータル・Web会議システムの統合による抜本的なコスト削減



ヤマハ発動機株式会社

2012 年末に公表された新中期経営計画において、2015 年に売上高 1.6 兆円を目標と掲げたヤマハ発動機にとって、グローバル 4 極の統合開発・調達センターによる開発の現地化をさらに推し進め、部材の調達・供給から製造までリージョン間で連携させ、モノづくり力を高めていくことが重要な課題となっています。この課題を解決するための手段の一つとして、メールやポータルサイトなどを活用した情報共有が大きな役割を担うこととなります。すでに「日本視点」を脱し、世界で脈打つグローバルカンパニーとして幅広く活動するヤマハ発動機グループでは、これまで統一された情報共有基盤は存在していなかったと言います。そこで、ヤマハ発動機では情報共有基盤のグランドデザインを策定。高機能かつ可用性の高い環境を構築することを計画します。





## ➤ 事例 4 : Office 365 株式会社大林組

加速するグローバル戦略を支えるコミュニケーション基盤を、Office 365 でクラウド化。「ワースタイル変革」「コスト削減」「BCP」など幾多のキーワードを満たす。



### <導入の背景と狙い>

メールサーバーの老朽化に端を発し、グローバルで管理できるコミュニケーション基盤へ一気に進化

#### 【中期経営計画 '12 基本方針】

1. 海外へのさらなる戦略的展開
2. ビジネス・イノベーション分野の発掘・育成
3. 利益を創出する技術への進化

「とにかくストレージ容量が足りないため、容量を多く使っている人には個別連絡して『サーバーからのメール削除』をお願いしてきましたが、皆、忙しいこともあり、なかなか大変でした。一方で、3D モデルのデータなど、メールに添付されるファイルは大容量化が止まりません。システムの更改に際しては、1 人あたりのメールボックスを、大容量化することが重要でした」。

→ 1 人あたり 25 GB の大容量

### <導入の経緯とシステム概要>

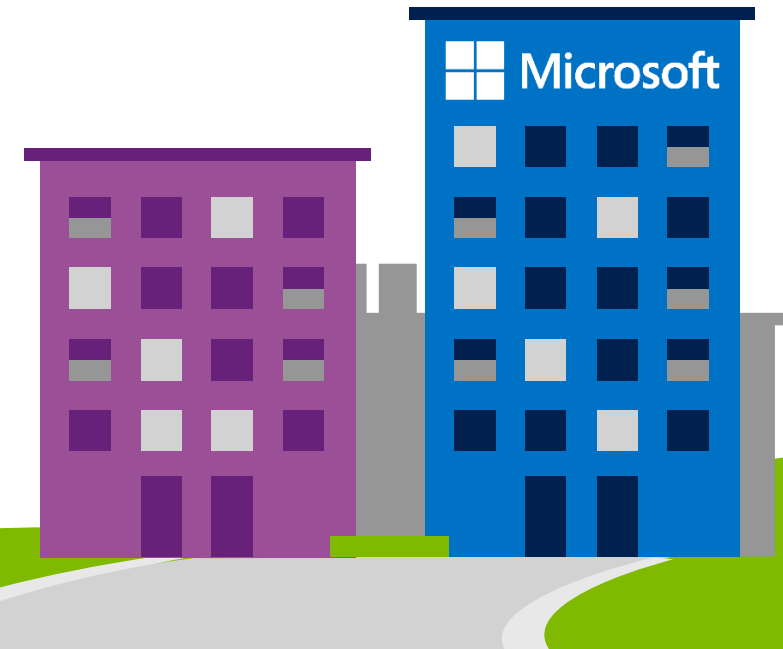
約 14,000 ユーザーのメール環境移行を約 1 か月で完了し、BCP 対策まで実現

大林組への Exchange Online 導入は、日本マイクロソフトと共に、大企業向けのクラウド ソリューション「コミュニケーション・コラボレーションソリューション」の共同開発および拡販を行ってきた日本電気株式会社 (NEC) がリードする、複数の IT パートナーによる共同体制で行われました。





© 2015 Microsoft Corporation. All rights reserved. Microsoft, Windows, Windows Vista and other product names are or may be registered trademarks and/or trademarks in the U.S. and/or other countries. The information herein is for informational purposes only and represents the current view of Microsoft Corporation as of the date of this presentation. Because Microsoft must respond to changing market conditions, it should not be interpreted to be a commitment on the part of Microsoft, and Microsoft cannot guarantee the accuracy of any information provided after the date of this presentation. MICROSOFT MAKES NO WARRANTIES, EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY, AS TO THE INFORMATION IN THIS PRESENTATION.



# 山形県内での取り組み

山形県、山形県市長会、山形県町村会の後援を受け、自治体向けクラウド利活用セミナーを開催。

山形県として、クラウド活用による産業活性化、新たな住民サービス開発への期待に言及頂く。

## やましん ICTセミナー

(テーマ) 最新クラウド利活用セミナー  
～クラウド最新情報と効果的な利活用の事例～

入場  
無料

科学技術は日進月歩とよくいわれますが、ICTの分野もその例外ではなく、毎日のように新しい技術や製品が生み出されています。ICTは、時間的・空間的な制約を飛び越え、積極的な情報の発信と収集を通じて新たなつながりをもたらし、多様な連携を可能にします。私たちを取り巻くこうした環境の急速な変化は、生活や産業活動などを支え、暮らしの中に深く関わってきます。今回のセミナーはこの変化に対応し、ICTの効率的な利活用を学ぶことで、便利な社会を形づくることを目的とするものです。

**基調講演** 13:35～

**山形県のICT利活用の未来ビジョン**  
—ICTによる新たな「絆」と「活力」の創造を目指して—  
山形県企画振興部情報企画課長 奥山 卓郎 氏

**専門講座 第一部** 14:45～

**「クラウド活用が推進する業務効率化と活用事例」**  
日本マイクロソフト株式会社  
コーポレート営業統括本部公共営業部長 鹿谷 栄一 氏

**専門講座 第二部** 15:40～

**「最新クラウドサービスの活用方法**  
～Microsoft AzureとOffice365～」  
株式会社YCC情報システム  
取締役システム本部部長 小沼 博





●主催/山形新聞・山形放送  
●後援/山形県、山形県市長会、山形県町村会、山形県商工会議所連合会、山形県商工会連合会  
●協力/YCC情報システム  
●協賛/日本マイクロソフト



やましん ICT セミナー

### クラウド最新情報と効果的な利活用の事例

「やましん ICT セミナー」は、山形県内の自治体向けに開催される。最新のクラウド技術やサービスに関する情報を提供し、効果的な利活用の事例を紹介する。山形県、山形県市長会、山形県町村会、山形県商工会議所連合会、山形県商工会連合会が主催・後援する。協力は YCC 情報システム、協賛は日本マイクロソフトが担当する。

「やましん ICT セミナー」は、山形県内の自治体向けに開催される。最新のクラウド技術やサービスに関する情報を提供し、効果的な利活用の事例を紹介する。山形県、山形県市長会、山形県町村会、山形県商工会議所連合会、山形県商工会連合会が主催・後援する。協力は YCC 情報システム、協賛は日本マイクロソフトが担当する。

**情報化整備を促進 各地で広がる多様なサービス**

山形県内の自治体では、クラウドサービスの活用が急速に進んでいる。特に、行政サービスの効率化や、住民サービスの向上に貢献している。山形県は、クラウドサービスの活用を促進するため、様々な取り組みを行っている。山形県は、クラウドサービスの活用を促進するため、様々な取り組みを行っている。

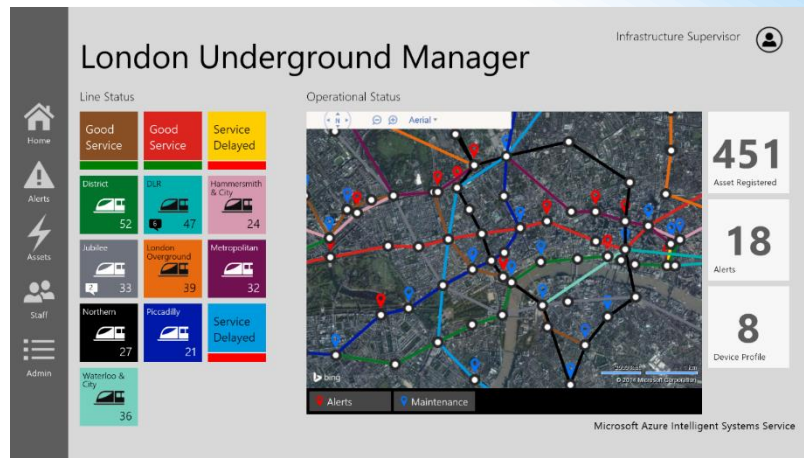
**ICTの動向**

- インターネット普及率(平成25年) 全国 83.8% 山形県 78.8%
- クラウドサービスの普及率(平成24年5月) 全国 77.4% 山形県 68.3%
- 携帯電話人口増加率(平成24年3月) 全国 116.5% 山形県 83.3%

# YCC情報システム様によるAzureサービス

	安否確認 ぶじっ	Cosail	除雪状況管理システム 雪ねえ	除雪費計算システム	道路情報収集システム	きぱっと就業	きぱっと給与
							
提供開始	2011.09	2012.06	2012.12	2013.12	2014.03	2014.07	2014.07
	<p>クラウド型安否確認システムです。</p> <p>災害時にリアルタイムで御社のパソコン・携帯・スマートフォンで安否状況の確認ができます。</p>	<p>配送車の配送状況を確認できるサービスです。</p> <p>配送車がどのあたりにいるのかがわかるので、到着時間が予測できたり、遅延などにも対応できます。</p>	<p>自治体の担当者様が除雪車の作業状況を携帯電話やパソコンから確認することができます。</p> <p>さらに住民向け除雪状況公開機能を使えば、除雪状況を公開することも可能です。</p>	<p>自動計算により除雪関連事務の負担を大幅に軽減します。</p> <p>GPSで除雪車の正確な稼働時間を算出し、日報作成やタコグラフ確認等の手間を削減できます。</p>	<p>パトロールの際に発見した道路の異常をシステムに登録することで、管轄する地域の道路状況を一元管理することができます。</p>	<p>クラウド型の就業管理システムです。業種や予算にあった打刻方法で出勤を記録・データ化し、管理できます。</p>	<p>クラウド型の給与管理システムです。給与計算、賞与計算から社会保険処理、年末調整処理まで給与関連業務をトータルサポートします。</p>

# クラウド



- 大規模大会運営インフラ
- 大規模高精細ビデオ配信
- 高度なサイバーセキュリティ
- IoT、統合監視・制御システム
- 機械学習による予測システム

- スマートフォン、タブレット、ウェアラブル、組み込みシステム
- 多言語音声認識・合成、機械翻訳、NUI、AI (人工知能) システム
- アプリの多言語とマルチプラットフォーム対応
- 高精度空間位置情報・観光情報リアルタイム翻訳



# デバイス

